

KANKOU TAKASAKI

# 観光たかさき

2013  
AUTUMN 秋号  
VOL.124

アートな休日

暮らしを彩るヒントがいっぱい

## インスピレーションが広がる群馬の森へ

高崎の観光再発見

天折の芸術家 山田かまち





# 広がる群馬の森へ インスピレーションが 暮らしを彩るトントがいっぱい

江戸時代、京の朝廷の使いが、日光東照宮に御幣を捧げるために毎年通った「日光例幣使街道」。この街道は中山道倉賀野宿から別れて、玉村・伊勢崎・太田を通して栃木県に向かっていました。現在は道端の看板が街道の存在を伝えています。「綿貫町南」の信号を通過して「綿貫町」の信号を左折し玉村町に向かう街道が描く角一帯は、かつて陸軍火薬製造所でした。その土地は戦後、南側を日本化薬株式に、北側を日本原子力研究所に払い下げられ、「明治百年記念事業」により、中央部が県立公園「群馬の森」として昭和49年に開園し、現在に至っています。森林浴やウォーキング、散策などが楽しめるうえ、県立近代美術館や歴史博物館もあり、芸術・文化の拠点としても充実した県民の憩いの場となっています。

■のどかな光景が広がる  
芝生広場  
秋は木の实拾いのお楽しみも

県立公園「群馬の森」は、綿貫町の前橋長瀬線(県道13号)沿いにあり、南隣に日本化薬株式、北隣に日本原子力研究所があります。正面入口から入ると、目の前には芝生広場が広がります。虫取り網を振り回してトンボを追ったり、ひざをついてバッタを捕まえようとしたりする子どもたち。レジャーシートの上でくつろぎながらそれを見守る大人たち。周囲の通路ではウォーキングに汗を流す人も少なくありません。その奥は、子どもたちが先を争って遊ぶアスレチックのある「あそびの広場」になっています。青い空と緑の



※ JR 高崎駅東口から、市内循環バス(ぐるりん)の岩鼻線または群馬の森線「群馬の森」下車。西口(8番線のりば)から群馬バス「新町駅行き」「群馬の森」下車。JR 倉賀野駅から、市内循環バス(ぐるりん)の岩鼻線「群馬の森」下車。



芝生の間に、なんとものどかで  
幸せな光景が流れています。

この群馬の森には約4500  
本もの樹木が植えられ、秋にな  
ると様々などんぐりの実を地面  
に落とします。それを楽しみに  
しているのは子どもたちだけで  
はありません。守衛室の前方の  
トチノ木の並木道には、毎年秋  
になると年配の女性がトチ餅の  
材料として実を拾いにやってくる  
そうです。また、マツ科のヒ  
マラヤ杉のマツボックリ「シー  
ダ・ローズ」は、その名の通り  
バラのような形で、コサージュ  
やリースの材料にしたいという  
人たちにとって、稀少な自然か  
らの贈り物となっています。

### ■陸軍火薬製造所跡地

#### 神秘の森で感覚を研ぎ澄ます

「正面入口」から見る群馬の  
森は広場・公園のイメージです  
が、「北入口」から入ると、そこ  
にはまさに「森」があります。  
うっそうと茂る木々が日射しを  
遮り、柔らかな光を受けて神  
秘の表情をたたえる修景池。土  
の湿った匂いや木々が発散する  
自然の強い匂いが鼻孔をくすぐ  
り、色づく季節の移ろいが楽し  
める場所です。ペットを連れて  
散歩したり、専用道で自転車を  
こいだり、おしゃべりしながら  
ゆっくり歩いたり、思い思いに  
楽しむ森。もともとあった木や

地形を生かし、整備しすぎてい  
ないところに情緒を感じます。

群馬の森は「明治百年記念事  
業」として昭和49年に開園しま  
した。近代美術館や歴史博物館  
もある自然豊かな県民の憩いの  
場ですが、かつてはここに陸軍  
の火薬製造所がありました。東  
京・板橋につぐ日本で2番目の  
火薬製造所の設立が決まったの  
は1879（明治12）年。井野  
川と烏川に沿った地形で、東京  
からの舟運と動力源の水車に欠  
かせない水利に恵まれていたこ  
とがその理由でした。日露戦争  
後の1905（明治38）年には  
ダイナマイトの製造も始まり、  
園内に関係者が建てた「我が国  
ダイナマイト発祥の地」の碑が  
あります。

要とした暗い時代の歴史も、こ  
の森は伝えていきます。

### ■美術館はおもしろい

#### アートな空間にひたる

群馬県立近代美術館は、日本  
のポストモダンの代表的な建築  
家・磯崎新氏の代表作のひとつ  
として、1974年に竣工され  
ました。12メーターを基準とし  
たフレームの集合体が美術作品  
を取り巻く額縁のような空洞と  
して想定されたという白亜の建  
物。周囲の環境と溶け合う建築  
自体もまさにアートです。

この美術館には、本県ゆかり  
の作家たちの作品、日本の近代  
美術、西洋の近代美術、日本と

▶土塁を抜けるトンネルは  
陸軍火薬製造所の名残り



### ■群馬県立公園「群馬の森」

住所：高崎市綿貫町 992-1

TEL：027-346-2269

開園時間：【4月～9月】7時30分～18時30分

【10月～3月】8時～17時30分

開園期間：年中無休（入園無料）

また、森には道より小高く  
なっている場所が数カ所ありま  
すが、これは爆発事故の被害を  
最小限に食い止めるために、  
人工的に土塁を築いてシラカシ  
などの木を植えた跡。土塁を抜  
けるトンネルも残っています。  
うっそうと茂る木々が落とす影  
のように、陸軍火薬製造所を必



◀群馬県立近代美術館とエミール＝アントワーヌ・  
ブールデル作「巨きな馬」



■群馬県立近代美術館

住所：高崎市綿貫町 992-1 群馬の森公園内

TEL：027-346-5560

開館時間：9時30分～17時

休館日：月曜（休日の場合は翌日）、ほか臨時休館日あり

入館料：常設・特別展示 一般 300円、大高生 150円（企画展示は展覧会によって異なります）。中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名、10月28日（県民の日）に観覧される方は無料。

※特別展示「大竹夏紀一光をまとった少女たち」（12月15日まで）  
企画展「Kimono Beauty—シックでモダンな装いの美 江戸から昭和」（11月4日まで）



●森のレストラン・ころむす

営業時間：10時～17時  
月曜定休（祝日の場合は翌日）  
TEL：027-346-5500



▲NUNO Corporationのストールと、桐生の刺しゅうメーカー「笠盛」のオリジナルブランド「000(トリプル・オウ)」のビーズのようなネックレス&ブレスレット。



●ミュージアム・ショップ

営業時間：9時30分～17時  
月曜定休（祝日の場合は翌日）  
TEL：027-346-5560



●読書コーナー「えほんの森」

中国の古美術を中心とした戸方庵井上コレクシオン、そして現代美術のコレクションなどおよそ1900点が所蔵されています。趣向を凝らした企画展や常設展でアート作品を鑑賞するのはもちろんですが、独創的な空

■群馬県立歴史博物館

住所：高崎市綿貫町 992-1 群馬の森公園内

TEL：027-346-5522

開館時間：9時30分～17時

休館日：月曜（休日の場合は翌日）、ほか臨時休館日あり

入館料：大人 200円、大学生・高校生 100円、中学生以下無料

※原始、古代から中世、近世、近現代と時代を追って群馬を中心とした日本の歴史を振り返ることができます。貴重な埴輪や甲冑、富岡製糸場の関連資料が充実。休日の午後には歴史に関係した「わくわく体験」教室も実施中！



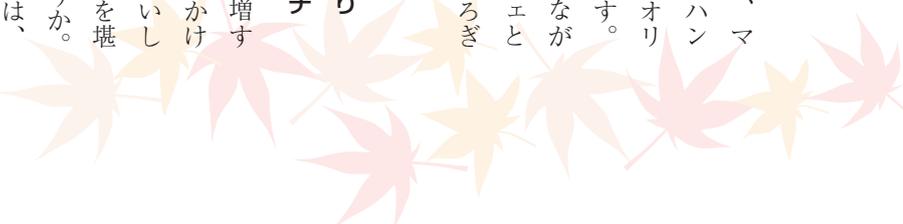
間を体感するのも美術館での楽しみの一つです。広々としたエントランスホールに足を踏み入れると、少し背筋が伸びるような心地いい緊張感があります。ミュージアム・ショップを覗くと、スタイリッシュでアイデアあふれるグッズが充実しております。見ているだけでワクワクします。中でも、この秋の企画展にあわせて揃えた、和テイストの小物が目をひきます。桐生市の刺しゅう屋さんを展開する自社オリジナルブランドのテキスタイルのネックレスやブレスレットは、ビーズのように繊細で色彩も豊か。和風モダンなストールは、身につけてもインテリアとして飾っても引き立つ存在があります。ミュージアム・ショップの隣は読書コーナー『えほんの森』です。豊かな色彩の絵本やメッセージ性の高い絵本など、美術館ならではのチョイスで、子どもはもちろん大人も楽しめる約400冊の絵本があり、自由に手に取って見ることが出来ます。また、館内にある「森のレス

トラン・ころむす」では、マクロビオテック料理の豆腐ハンバーグや古墳カレーなど、オリジナルメニューが味わえます。目の前の池や公園を眺めながら、街のレストランやカフェとはまた違った、素敵なくつろぎの時間を過ごせます。

■お皿の上にもアートな彩り  
コースでいただくフレンチ

深まりゆく秋は食欲も増す季節です。たまには時間をかけて、目にも楽しく食べておいしい、大満足なランチタイムを堪能してみたいいかがでしょうか。

このエリアでお勧めなのは、群馬の森の正面入口を出て岩鼻方面へほんの300mほど行っただけの左側にあるフレンチレストラン『パリの朝市』。





▲前菜は上州牛のローストビーフ、秋鮭のマリネ、赤ピーマンのムース（写真右上）。主菜は上州麦豚のロースト。

■フランス料理『パリの朝市』（群馬県地産地消推奨認定店）

住所：高崎市岩鼻町 241-10

TEL：027-347-4765

営業時間：【ランチ】11時30分～14時30分（要予約）

【ディナー】17時30分～22時（要予約）

月曜定休 駐車場 6台 席数 25席



◀デザートはチョコレートのムースと巨峰のゼリー、いちじく。ランチは、1800円と2500円のコース料理があり、全体的にボリュームがあります。

シェフの島崎勝義さんと奥様の和子さんご夫妻が、22年前から営む、素材や手作りにこだわったお店で、気取りのない温かな雰囲気が素敵です。

その日の仕入れで納得のゆく食材を調達してから具体的な料理を決め、使命感と愛情を込めて腕を振ります。当たり前のような永年の積み重ねが、美しい盛り付けや素材を引き立てるソース、ポワレやグリユなどを紡ぎ出します。メニューはあえてコース料理のみ。食事のペースを見計らって出されるお皿に、目を輝かせて話を弾ませる至

福のひと時が広がります。誕生日や入学祝、クリスマスといった特別な記念日はもちろんですが、何気ない日常の華やぎに今日はフレンチと、何度でも訪れたくなるお店です。

■プランターに季節をデザイン  
小さい秋見つけた

群馬の森を通り過ぎ、綿貫町の信号を玉村方面に右折。かつては例幣使街道だった国道354号沿い、群馬の森北入口を通過し井野川を渡ってすぐ左側に、高崎松風園があります。数々のガーデニングコンテストでデザインや施工技術等において高い評価を得てきた市内屈指のプロ集団です。

季節の草花や野菜苗、花木、ガーデニンググッズなどを販売している園芸店と、その奥には、中央のケヤキの大木を取り囲むようにサンプルガーデンが展示されています。プランターひとつから庭づくりまで、相談にのってもらえる強い味方。決して広くない我が家の庭も、こんな風に変身したらと夢



が広がります。

また、ガーデニングスクールが定期的開催され、初心者からプロをめざす人たちが学んでいます。気楽に一回限りの受講も可能です。季節やイベントをテーマにした寄せ植えなどは、日常の暮らしに華やぎをもたらしてくれます。

自宅の庭をリフォームしたら、家族がそこで過ごす時間が長くなったという経験を持ち、それがきっかけでガーデニングの仕事をめざしたというガーデンアドバイザーの春山裕美さん。春山さんに、秋をイメージした寄せ植えをお願いしました。

「秋をイメージする色を選び、葉の形状をシャープな線、大きな面、細かい葉が多くついた点」を意識して揃えます。



斑入りの葉は光を通して明るく見えます。高さのあるものを後ろへ、低いものを前に配置します。花は、秋明菊とケイトウ、ジニアを選びました。高さのあるカリヤスは稲穂のイメージ。グランドカバーに用いられるオトギリソウ科ヒペリカムとシモツケは、伸びるとプランターから垂れ下がります」と春山さん。

秋をデザインしたプランターを玄関先などに飾ってみようか、そんな気持ちになるアートの大人の休日が満喫できます。

■株高崎松風園

住所：高崎市八幡原町 455 TEL：027-347-2818

営業時間：9時～18時 売店定休日：火曜日

※定期ガーデニング教室（ビギナーズ編）は毎月第3木曜・第4日曜午後1時30分～。参加費は4,500円（受講料+材料費）10月：「コニファーで作る森の景色」。11月：「草花とチューリップ球根のコンテナ」。12月：「ミニ門松寄せ植え」を予定。

## ●01 EVENT

## 「高崎バル 2013・秋」を開催します

10|17~20  
(木) (日)《あとバル》  
10月21日(月)~31日(木)高崎バル  
Takasaki Bar 2013 Autumn 2013・秋

高崎中心市街地の飲食店では10月17日(木)~20日(日)にかけて、会社帰りや買い物帰りに“食べ歩き”と“まち歩き”を楽しんでいただく飲食イベント「高崎バル 2013・秋」を開催いたします。

バルとは、いつでも立ち寄れる気軽なお店という意味で、参加店がお店の特徴を生かしたワンドリンク・ワンメニューのお得な“バルメニュー”を用意し、お客様の来店をお待ちしております。

4回目となった初夏の開催では、和食・洋食・中華やイタリアン、カフェやバーなど、バラエティーに富んだ82店舗が参加し、4日間で延べ6千人近いお客様で賑わいました。

前回楽しんだ方も、初めて知った方も「高崎バル 2013・秋」にぜひご参加ください。

「高崎バル 2013・秋」の参加店舗並びに各店舗のバルメニュー等の情報は、ガイドマップや高崎商工会議所のホームページでご案内しておりますので、ぜひこの機会にまちなかの“食べ歩き”と“まち歩き”を楽しんでください。

●お問い合わせ：高崎商工会議所・企画情報課 TEL.027-361-5171

## ●02

## 第24回 高崎マーチングフェスティバル

## EVENT

10|26・27  
(土) (日)

- キッズドリル  
開催：10月26日(土) 10時~14時  
会場：城南野球場
- パレード  
開催：10月27日(日) 10時~13時  
会場：シンフォニーロード~城南野球場
- フィールドドリル  
開催：10月27日(日) 11時~15時  
会場：城南野球場

\*上記催しの時間帯は予定です。当日は変更する可能性があります



今年、24回大会を迎える高崎マーチングフェスティバル。

今回は、招聘バンドに横浜ロビンスをはじめ学校法人埼玉栄中学・高等学校マーチングバンド、関東学院中学・高等学校マーチングバンド部の皆さまをお迎えし、市内の園、小、中、高、一般バンド50団体、総勢53団体による素晴らしい演奏演技が披露されます。

毎年回を重ねるごとにレベルアップを続ける高崎マーチングフェスティバル。「音楽のある街・高崎」にふさわしい迫力と見応えあるプログラムをお楽しみください。

●お問い合わせ：高崎マーチングフェスティバル協会事務局 TEL.027-326-5926

## ●03 EVENT

## キングオブパスタ2013を開催！

11|10  
(日)午前10時~午後4時  
もてなし広場

高崎市内の美味しいパスタが一度に楽しめる“キングオブパスタ”を本年も開催します。昨年と異なり、今年の会場はもてなし広場となりますのでご注意ください。また、今回は芝生スペースも開放します。

数多くの参加店が、この日の為に考え抜いた自慢のスペシャリテを用意して皆様をお待ちしております。「パスタの街・高崎」の名に相応しい味と情熱の競演をお楽しみください。

入場には投票券・試食券付きの入場券が必要になります。あなたの一票が今年のパスタキングを決めます!! 皆様のご来場、心よりお待ちしております。

他にも、市内各所で連携したイベントを計画中です。詳細は公式ホームページにて随時更新していきますのでご確認ください。

●お問い合わせ：キングオブパスタ実行委員会 TEL.027-323-2868

## ●04

## 第1回 榛名湖マラソン

## EVENT

11|17  
(日)午前9時30分スタート  
高崎市榛名湖町  
県立榛名公園駐車場

諏訪利成さん

高崎市を代表する観光地で、県内において23年ぶりの公認フルマラソンを開催します。秋の美しい「榛名湖」を5周半ぐるぐる廻る42.195kmのコースです。ゲストラナーに、アテネオリンピックで入賞した日清食品グループ陸上競技部の諏訪利成コーチ兼選手を招き、全国からすでに1,000人を超えるランナーがエントリーしています。当日は多くの市民ボランティアがあたたかくもてなし、エイドステーションで、皆様の走りをサポートしていきます。

榛名地域は、3月「はるな梅マラソン」、5月「榛名山ヒルクライム」、7月「榛名湖リゾート・トライアスロン」、そして今回の「榛名湖マラソン」と一年を通してスポーツイベントが次々開かれ、今、輝いています。

●お問い合わせ：榛名湖マラソン実行委員会事務局 TEL.027-374-6715

## 第85回 高崎えびす講市

●05

11 | 16・17  
(土) (日)

高崎市内の小売業者が商売の福神様であるえびす様に一年の商売繁盛を祈願するとともに、お客様への日頃のご愛顧に対し、年に一度の大売出しを行う商都高崎を代表する商業イベントです。

今年は11月16日(土)～17日(日)に開催され、お客様への報恩感謝と廉売を形に表した、『えびす札』と呼ばれる抽選券付きの目玉商品を販売致します。本年度は85回記念として豪華景品が当たる「大抽選会」をはじめ、高校生が商品の販売と接客を競う「熱血！高校生販売甲子園」を実施します。

他にも、「富くじ抽選会」や「千社札めぐり」、各商店街独自の多彩なイベントも多数行われており、開催期間中は中心市街地が熱気に包まれます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

●お問い合わせ：高崎えびす講市実行委員会事務局 TEL.027-361-5171

## 10月～12月の主な開催イベント

EVENT

●06

- |            |   |              |  |
|------------|---|--------------|--|
| 10月5日      | 第28回たかさき能 群馬音楽センター (高松町)                                | 11月3日        | 例大祭 八幡八幡宮 (八幡町)<br>烏川渓谷ロードレース (倉淵町)<br>しんまち大道芸まつり・商工祭 (新町) |
| 10月5日・6日   | 高崎観音だるまマーチ (市庁舎前広場)                                     | 11月9日・10日    | 吉井秋まつり (吉井町)   |
| 10月6日      | みのわの里・きつねの嫁入り (箕郷町)                                     | 11月10日       | 道祖神の里めぐり (倉淵町)   |
| 10月9日      | 祭典 五霊神社 (貝沢町)<br>秋祭 進雄神社 (柴崎町)・<br>保渡田諏訪神社 (保渡田町)       | 11月12日       | 子育て鬼子母神大祭 妙福寺 (箕郷町西明屋)                                     |
| 10月10日     | 琴平神社大祭 新後閑町<br>琴平宮の例祭 下室田町                              | 11月17日       | 甘酒千人供養 慈眼院 (石原町)   |
| 10月12日     | 獅子舞 水沼神社 (倉淵町水沼)  | 11月23日       | くらぶちやまなみ祭 (倉淵町)<br>太々神楽 (秋の奉納) 椿名神社 (倉淵町権田)                |
| 10月14日     | 鎌倉街道武者行列 (城南・南・中央地区)                                    | 11月上旬・中旬     | 高崎菊花連合大会 (乗附町)<br>少林山菊花大会 (鼻高町)                            |
| 10月15日・16日 | 例大祭 山名八幡宮 (山名町)   | 12月1日～1月11日  | HOTまちなかイルミネーション (吉井町)                                      |
| 10月16日・17日 | 例大祭 護国神社 (乗附町)  | 12月1日～1月31日  | 新町イルミネーション (新町)  |
| 10月18日・19日 | 秋祭 高崎神社 (赤坂町)   | 12月6日～12月25日 | 榛名湖イルミネーションフェスタ (榛名湖町)                                     |
| 10月19日     | 太々神楽 小祝神社 (石原町)<br>例大祭 飯玉神社 (飯塚町)<br>秋季例大祭 倉賀野神社 (倉賀野町) | 12月10日       | 仕舞琴平 琴平神社 (新後閑町)   |
| 10月19日・20日 | 榛名ふるさと祭り (下室田町)   | 12月28日       | 松市 於菊稲荷神社 (新町)   |
| 10月20日     | たかさき雷舞フェスティバル (高松町)<br>かみつけの里古墳まつり (井出町)                | 12月31日       | 除夜会・二年詣り 仁叟寺 (吉井町)<br>年越大跋式 倉賀野神社 (倉賀野町)                   |
| 10月27日     | 箕輪城まつり (箕郷町東明屋)   | 12月中旬～       | 高崎光のページェント (高崎駅西口特設会場)                                     |

●お問い合わせ：(一社)高崎観光協会事務局 TEL.027-330-5333



## ようこそ高崎 人情市

会場が異なります

- 平成25年10月27日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：市庁舎前広場  
平成25年11月24日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場  
平成25年12月22日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

●お問い合わせ：事務局 NPO 法人高崎やる気堂 (高崎市剣崎町1348-1)  
TEL 027-343-5130 FAX 027-340-7067 <http://ninjou.gunmablog.net/>



●07

## 事務局移転のお知らせ

一般社団法人 高崎観光協会 〒370-0849 高崎市八島町32-2 岩崎ビル2階 TEL.027-330-5333 FAX.027-330-5334  
E-mail: kankouyoukai@city.takasaki.gunma.jp

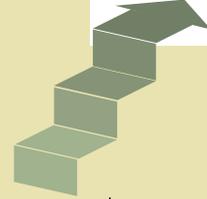


山田かまち▶



# 奔放な色彩と動き

若者に感動と希望を与える詩と絵画



## 夭折の芸術家 山田かまち

「激しく美しく生きる」。17歳で世を去った「山田かまち」が残した詩と絵画は、若者の心を揺り動かし、感動と希望を与えている。生きることとは何か、自分とは何か、かまちの言葉が鮮烈に、そしてひりひりとした痛みとともに心に刻み込まれ、魂からあふれ出した奔放な色彩に引き込まれていく。

### ●幼い頃から絵に熱中

昭和35年（1960）7月、山田かまちは高崎市に生まれ、倉賀野町で育った。「かまち」という名は『日本歴史物語』に書かれていた少年「鹿麻知」から父親が名付けた。1歳の頃から絵を描き始め、幼い頃から才能の片鱗を見せた。自宅の庭で昆虫やトカゲを這

うようにじつと観察し、鳥や魚に熱中し、飽くことなく広告の裏に描き続けた。ジャングル大帝やウルトラマン、恐竜や地球の歴史も、かまちのお気に入りだったという。その当時の作品は焚き付けに使われ残っていないが、周囲の大人を驚かせ

た。父親が同僚に見せたら「子どもに書けるはずがない」と一蹴されたという。

### ●光琳や宗達に匹敵するようになるかもしれない

小学生の頃から、かまちの個性は枠を越え担任の教師は手を焼いたようだ。友達からは人気があり、休み時間になると怪物を描いてほしいとかまちの回りに集まった。

小学校3年生の時、かまちはテスト用紙の裏に鉛筆で水牛を描いた。テストよりも水牛に集中していたことがすぐにわかった。担任の竹内先生はかまちの才能に目をみはった。その年、竹内先生は、かまちは一夜で描いた32枚の動物画を持ち、かまちを連れて、芸術に造詣が深く高崎の発展に尽力した井上房一郎氏を訪ねた。井上氏は「大変な少年だ。うまく伸ばせば光琳や宗達に匹敵するようになるかもしれない」とかまちの才能を絶賛したという。

### ●ぼくは24時間では足りない

小学校5年生の時、かまちはステレオを買ってもらい、抱きかかえるよ

うにしながらカラヤンを聴いた。中学校に上がる春休み、かまちは「ぼくは二十四時間じゃ足りないよ」と母親に話しかけた。ビートルズの音楽に出会い「年齢を超えて感動できるロックを僕は作りたい」と燃えるような言葉で語っていたという。

高校受験に失敗したかまちは予備校に通い、一人の女性に恋をする。「愛いちばんすばらしいもの」と、書き記し、情熱的な作品を残している。

昭和52年、高崎高校に入学したかまちは、誕生日にエレキギターを買ってもらった。その爆音は、母親を当惑させた。8月10日、昼の食事ができたと母親が2階のかまちに声をかけた。返事がないのをいぶかしく思い、母親が部屋のドアを開けると、エレキギターを抱えたまま、かまちは倒れていた。足もとには汗で濡れたTシャツが脱ぎ捨てられていた。

かまちは葬儀には、かまちの幼なじみで、後にボウイの水室京介と松井常松が訪れた。水室が言った。「かまちはハードロックでした」。かまちは部屋のベッドの下からおびただしい数のスケッチブックと大学ノートが見つかった。